

2022年5月12日
コムシスホールディングス株式会社

2050年カーボンニュートラルに向けて 「温室効果ガス削減目標」を設定し SDGsの目指す社会づくりに貢献

コムシスホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 加賀谷 卓）は、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）が2017年6月に報告した最終報告書「気候変動関連財務情報開示タスクフォースによる提言」に対して、2021年11月に賛同を表明しました。



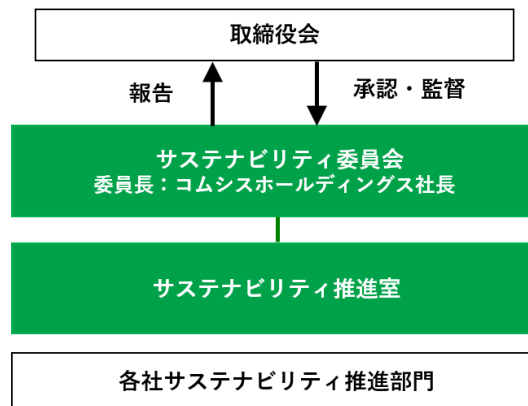
コムシスグループでは、急激な気候変動をもたらす危機に直面している社会環境において、将来にわたって企業活動を継続していくためには、環境負荷を低減させ、カーボンニュートラルを実現することが不可欠であると考えております。このような認識の下、2022年5月に、SBT（Science-based Targets）の考え方^{*}に基づき2030年度、2050年度の温室効果ガス削減目標を設定いたしました。今後、目標達成に向けた取り組みを推進してまいります。

^{*}Near-term SBTの考え方に基づく

【コムシスグループ温室効果ガス削減目標】

| | 2020年度排出量 | 削減目標 |
|---|-------------------------|--|
| Scope1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 | 88,178t-CO ₂ | <ul style="list-style-type: none"> ● 2030年度までに2020年度を基準として42%削減 ● 2050年度カーボンニュートラル |
| Scope2 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出 | 15,626t-CO ₂ | |
| Scope3 サプライチェーンからの間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出） | 175万t-CO ₂ | <ul style="list-style-type: none"> ● 2030年度までに2020年度を基準として25%削減 |

コムシスグループでは経営理念に基づき、「サステナビリティ基本方針」を策定し、2022年7月に設置予定のコムシスホールディングス社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を中心に、サステナビリティの取り組みを強化してまいります。



今後、コムシスグループは TCFD の提言を踏まえ、気候変動が当社グループ事業に与えるリスク・機会の適切な情報開示を行い、SDGs の目指す社会の実現に貢献するとともに、コムシスグループの持続的成長を図ってまいります。

□コムシスグループのサステナビリティ

https://www.comsys-hd.co.jp/pdf/ir_library6/sdgs2021add.pdf#page=2

～お問い合わせ先～

コムシスホールディングス株式会社

TEL : 03-3448-7190 URL : <https://www.comsys-hd.co.jp>